

2017（平成 29）年度

新宿自治創造研究所 活動報告

2018（平成 30）年 3 月

新宿区新宿自治創造研究所（SHIPS）

「物語」としての新宿の魅力

新宿自治創造研究所（英文名称 Shinjuku Institute for Policy Studies、略称 SHIPS）は、区職員が学識経験者等と連携して区の重要な政策課題について調査研究を行うとともに、研究活動や人材育成事業、情報発信等を通して、職員、ひいては区全体の政策形成能力の向上を図ることを目的に2008（平成20）年4月に設置した自治体シンクタンクである。発足後10年目にあたる2017（平成29）年度の活動報告を行うにあたり、以下のメッセージを送る。

今年度開催した新宿区自治フォーラム2018には、「物語としての新宿の魅力」というタイトルがついている。「物語」とあえて謳った理由は何なのか。文学研究者は、物語とは非日常的であやしげなモノについての語りか、と説明している。新宿は日常と非日常が混在し、きちんとしていることとあやしげさが共存している。新宿は物語を語るにふさわしい都市なのである。

ものごとは、日常の比較的整った秩序ある状態から、何らかの変化要因により整った状態が崩れた状態になる。さらには、ひょんなことから突発的に発見や創発が生じる。活発な創発状態もやがてまとまりを持った平常状態に落ち着く。その後は、マナー化や陳腐化により、平凡な日常に落ち着く。このようなプロセスが生物社会では一般的なようであり、創発の考え方は、組織、社会、都市などについても応用されている。

「物語」には筋（プロット）があり、起承転結がみられるが、そこには思わぬ展開が付きものである。新宿には、ひと・もの・かね・情報など、多種多様な資源が集積し、新宿はそれらの素材を変換し、展開する力に長けている。そして、まちとしてダイナミックに変化している。新宿の持つ不思議な都市の魅力はさらに人々を引きつける。

今後も、さまざまな顔を持つ新宿の魅力を探りながら、研究所は、内外の多様なニーズに応えるべく政策課題を検討し、地域にとって大切なことは何なのかを模索しつつ、調査研究に取り組んでいきたいと考えている。最後になるが、研究活動や人材育成事業においてご指導いただいたアドバイザーの諸先生方、データ提供や聞き取り調査などにご協力いただいた区や関係団体の職員、区民や団体の皆様などをはじめ、多数の方々のご支援とご協力に対してお礼を申し上げます。

新宿自治創造研究所所長
金 安 岩 男

2018（平成30）年3月

目 次

1	調査研究	4
2	講演会等の開催	7
3	SHIPS通信の発行	8
4	政策立案支援	9
5	学会等への参加・報告・寄稿	10
6	他自治体・シンクタンクとの交流	10
7	新宿区自治フォーラム2017	11
8	資料	13

1 調査研究

(1) 研究テーマにかかる調査研究

①テーマ

2017（平成 29）年度は、区の長期的な政策課題に関するテーマとして、昨年度に引き続き「新宿区のまちの魅力」の調査研究を行った。また、政策立案の基礎となる人口・世帯に関するテーマとして、昨年度に引き続き「2015 年国勢調査データからみる新宿区の特徴」と新たに「2015 年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」の調査研究を行った。

②研究の進め方（WG の開催）

研究所の専属スタッフ（所長、副所長、研究員）にアドバイザーを加えたワーキング・グループ検討会議（以下、「WG」）を開催するとともに、専属スタッフによる検討会議を随時行い、研究方針の設定、データの整理・分析、研究の進行管理等を行いながら調査研究を進めた。

ア) まち魅力の魅力WG

新たにテーマ別アドバイザーとして梅本龍夫氏（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科特任教授）を招き、WG を計 8 回開催した。

①5/8、②6/13、③7/28、④8/30、⑤9/28、⑥11/6、⑦11/30、⑧1/18

イ) 人口WG

引き続き、テーマ別アドバイザーとして大江守之氏（慶應義塾大学名誉教授）、客員アドバイザーとして丸山洋平氏（福井県立大学地域経済研究所特命講師）を招き、WG を計 4 回開催した。

①4/24、②5/22、③6/22、④1/16

③研究の内容・成果

ア) 新宿区のまち魅力の研究

<概要>

新宿区は 34 万人の人々が暮らすまちであるとともに、多くの通勤・通学者や来街者でにぎわうまちである。しかし、今後、東京 2020 オリンピック・パラリンピックなどを契機に、都市間競争が一層激しくなることが想定される。新宿区がいつまでも「住み続けたい」「訪れたい」と思えるまちであるためには、新宿の多彩な魅力をさらに発掘・創造していくことが必要となる。

昨年度（2016 年度）の研究では「にぎわいの実態把握と意識面からみる魅力の分析」を行った。今年度（2017 年度）は、新宿の魅力の源泉となる地域資源のどのようなものがあり、それらがどのように集積してきたのかを把握し、豊富な地域資源がどのようにしてまちの魅力を形成するかのメカニズムを明らかにする。そして、社会経済状況の変化を踏まえ、東京 2020 オリンピック・パラリンピック後も、新宿がまちの魅力とブランド力をさらに向上させ、魅力的なまちであり続けるための方向性を示すものである。

<研究成果>

・1 年間の研究成果をまとめ、2018（平成 30）年 3 月に研究所レポート 2017 「新宿区のまちの魅力の研究（2）」（68 ページ）を発行し、ホームページ（以下、「HP」）でも公表した。

(構成)

①地域資源と集積のプロセス

- ・歴史・伝統資源の集積
- ・教育資源の集積
- ・商業資源の集積
- ・文化資源の集積
- ・産業資源の集積

- ②地域資源の動向と社会経済環境の変化
 - ・ 今後の大規模開発と交通網の整備
 - ・ 産業の動向
 - ・ 外国人居住者の動向
 - ・ 大学、マンションの動向
 - ・ 文化の動向
- ③まちの魅力形成メカニズムと今後の方向性
 - ・ 時空間軸でみた地域資源の集積
 - ・ まちの魅力形成のメカニズム
 - ・ 魅力的なまちであるための方向性

イ) 2015 年国勢調査データからみる新宿区の特徴

<概要>

- ・ 2015（平成 27）年に実施された国勢調査の集計結果のうち、総務省統計局が順次公表する集計結果データから新宿区分の結果を順次「新宿区の概要」としてまとめ、Web レポートによりホームページで公表した。また、これらの「新宿区の概要」のうち基本的なデータと新宿区に特徴的なデータを抽出及び加筆し、研究所レポートとしてまとめ、発行した。

<研究成果>

- ①研究所 Web レポート「2015（平成 27）年国勢調査・集計結果－新宿区の概要－」
 - ・ 就業状態等基本集計（2017 年 9 月 HP 公表）
 - ・ 従業地・通学地集計（2017 年 12 月 HP 公表）
 - ・ 移動人口・世帯構造等集計（2018 年 3 月 HP 公表）
 - ・ 小地域集計（2018 年 3 月 HP 公表）
- ②研究所レポート 2017「2015 年国勢調査データからみる新宿区の特徴」（2018 年 1 月発行／2 月 HP 公表）

（構成）

- ・ 国勢調査の概要
- ・ 国勢調査結果からみる新宿区の特徴
（人口・世帯、居住・移動、就労・産業、従業地・通学地）
- ・ 国勢調査集計結果からみる地域の特徴
（グラフでみる特別出張所地域間のデータ比較、特別出張所地域別にみる地域の特徴、地図でみる特別出張所地域間のデータ比較）

ウ) 2015 年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計

<概要>

新宿自治創造研究所では 2012 年度に 2010 年国勢調査人口を基準とする新宿区将来人口推計を作成し、公表したが、2015 年国勢調査人口が公表されたのを受け、2015 年国勢調査に基づく新宿区人口推計の作成に取り組み、推計結果を速報版として Web レポートによりホームページで公表した。その後、人口動向の分析、推計内容、推計方法等の詳細を研究所レポートとしてまとめ、発行した。

<研究成果>

- ①研究所 Web レポート「2015 年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計（速報版）」
（2017 年 9 月 HP 公表）
- ②研究所レポート 2017「2015 年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」（2018 年 1 月発行／2 月 HP 公表）

(構成)

- ・新宿区の人口動向（総人口、年齢区分別人口、出生・死亡、転入・転出、年齢5歳別人口増減）
- ・推計方法（推計の基本、推計手法）
- ・推計結果（総人口、年齢区分別人口、将来コーホート・シェア、推計結果表）
- ・前回推計との比較（推計方法の比較、推計結果の比較）
- ・参考資料（国勢調査人口と住民基本台帳人口との比較、住民基本台帳による外国人人口の動向、推計手法の詳細）

(2) 研究会の実施

新宿区のまちの魅力の研究の参考とするため、有識者を招いた研究会を開催した。

- ・第1回 2017（平成29）年5月16日（火）13時30分～15時30分
講師：東京学芸大学 地理学分野 准教授 牛垣 雄矢 氏
内容：商業地における地域的個性の形成メカニズムに関する専門家を講師に招き、神楽坂など都市における商業集積の形成に関する講義を受け、研究活動の参考とした。
- ・第2回 2017（平成29）年6月8日（木）13時30分～15時30分
講師：法政大学大学院 政策創造研究科 教授 増淵 敏之 氏
内容：経済地理学、観光地理学、文化経済学の専門家を講師に招き、路地裏における文化形成等に関する講義を受け、研究活動の参考とした。
- ・第3回 2017（平成29）年7月4日（火）13時30分～15時30分
講師：法政大学大学院 デザイン工学研究科 兼任講師 稲葉 佳子 氏
内容：多文化都市・大久保地区で長年にわたりフィールドワーク調査を行っている専門家を講師に招き、多文化都市形成の背景や実態、課題等に関する講義を受け、研究活動の参考とした。

(3) 研究所勉強会の実施

研究所スタッフの能力向上を図るため、所長、副所長、研究員による研究テーマに関する報告を中心とする勉強会を実施した。

- ・第1回 2017（平成29）年5月30日（火）10時30分～12時
内容：金安所長による報告「川柳からみた土地の理解－神田須田町界限－」
- ・第2回 2017（平成29）年7月4日（火）10時30分～12時
内容：田中研究員による報告「将来人口推計－中立性と地域の実情の反映－」
- ・第3回 2017（平成29）年7月11日（火）13時30分～15時
内容：渡部研究員による報告「まちの魅力の研究－訪日外国人と文化を中心に－」
- ・第4回 2017（平成29）年7月19日（水）10時30分～12時
内容：阿部研究員による報告「まちの魅力の研究－都市計画の視点から－」
- ・第5回 2017（平成29）年8月1日（火）10時30分～12時
内容：原田副所長による報告「地域の変容－新宿区の震災被害－」
- ・第6回 2017（平成29）年8月8日（火）10時30分～12時
内容：町田研究員による報告「暗号化と情報セキュリティ」

2 講演会等の開催

(1) 第1回職員向け講演会

日時：2017（平成29）年7月19日（水）10時～12時

会場：人材育成センター研修室A

講演：「歌舞伎町の社会学－フィールドワークにもとづいた歓楽街の正しい見方－」

講師：武岡 暢 氏／東京大学文学部社会学研究室助教

趣旨：職員研修の一環として、区職員が新たな発想、幅広い知識を学び、政策形成能力を向上させることを目指す。

参加者：区職員51人（うち研究所スタッフ6人）

内容：客引き、ビルオーナー等へのフィールドワークを長期的に行っている講師から、歌舞伎町が歓楽街として繁栄し続けている背景や構造等について、社会学的な視点に基づく講義いただき、学習した。

満足度：参加者アンケートによる講演の満足度は、「満足」と「まあ満足」を合わせて81%

(2) 第2回職員向け講演会

日時：2017（平成29）年2月5日（月）15時～17時

会場：人材育成センター研修室A

演題：「地域における居場所づくり－サードプレイスの可能性を探る－」

講師：梅本 龍夫氏／立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授

趣旨：職員研修の一環として、区職員が新たな発想、幅広い知識を学び、政策形成能力を向上させることを目指す。

参加者：区職員38人（うち研究所スタッフ等6人）

内容：講師から、家庭でも職場でもない第3の居心地の良い場所であるサードプレイスの解説、日本で行われている官民による居場所づくりの事例紹介、これからのインフォーマルな公共の場でのサードプレイスの必要性などについて講義いただき、学習した。

満足度：参加者アンケートによる講演の満足度は、「満足」と「まあ満足」を合わせて97%

(3) 職員向け講座（計2回）

日時：2017（平成29）年9月7日（木）、8日（金）各13時15分～17時

会場：人材育成センター研修室B

演題：「政策立案のための統計データ活用講座（基礎～応用編）」

講師：中野 邦彦氏／島根大学地域未来戦略センター助教、
研究所スタッフ（金安所長、田中研究員）

趣旨：研究所の調査研究に関する課題（今回は統計データ分析）について、職員がより理解を深め、それぞれの業務における政策立案につなげることを目指す。

参加者：区職員24人（うち研究所スタッフ6人）

内容：元研究所非常勤研究員と現研究所スタッフが政策立案や課題解決のために必要となる統計データの活用に関する講義を行うとともに、「検定」や国の地域経済分析システム（RESAS）について、パソコンによる実習を行うことで、データを政策立案に活用するためのスキルを学習した。

総合評価：参加者アンケートによる総合評価は、「良い」と「まあ良い」を合わせて89%

(4) 新任研修(講師)

日 時：2017(平成29)年5月17日(水)13時45分～14時25分

会 場：人材育成センター研修室A

趣 旨：新任職員に新宿区職員としての基礎的知識・情報を身につけてもらう。

講 師：田中研究員

参加者：区職員(新規採用職員)90人

内 容：新規採用職員研修として、「研究所レポート～データでみる新宿区～」をテーマに、研究所レポートからデータを抜粋し、新宿区の人口・世帯の現状、課題、将来見通しなどを講義した。

(5) 公共マーケティング研修(講師)

日 時：2017(平成29)年7月10日(月)9時～17時(第1回)

2018(平成30)年1月9日(火)9時～17時(第2回)

会 場：研修室人材育成センター研修室A

趣 旨：職員研修の一環として、区職員に政策形成、事業計画、事業実施に必要な考え方を学んでもらう。

講 師：牧瀬政策形成アドバイザー

参加者：69人

内 容：区職員の政策形成能力向上に向けて、研究所アドバイザーが区民ニーズリサーチの方法やニーズ分析、政策課題等について区職員に講義・演習を行った。

(6) 現任中級研修(講師)

日 時：2017(平成29)年12月11日(月)、18日(月)、25日(月)各9時～17時

会 場：人材育成センター研修室A

趣 旨：職員研修の一環として、中堅職員にその立場と役割を認識し、集団で仕事をしていくうえで重要なコミュニケーション能力のスキルアップを図ってもらう。

講 師：牧瀬政策形成アドバイザー

参加者：93人

内 容：区職員の政策形成能力向上に向けて、研究所アドバイザーが問題解決までのプロセスと中堅職員の役割や全国の政策条例に基本について講義・演習を行った。

3 SHIPS通信の発行

(1) 趣旨

区職員に研究所の活動を周知するため、情報発信誌「SHIPS通信」を発行した。

(2) 主な内容

第20号：2017(平成29)年10月発行

- ・2015年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計(速報版)の公表
- ・国勢調査 就業状態等基本集計結果(新宿区の概要)の公表
- ・第1回職員向け講演会(7/19)の開催実績報告
- ・職員向け講座(9/7,8)の開催実績報告
- ・研究所ニュース① まちの魅力の研究の中間報告
- ・研究所ニュース② 区職員PTによる政策課題研究に実施

- ・研究所ニュース③ 庁内の政策立案支援のためのデータ提供、アドバイスの実施

第 21 号：2018（平成 30）年 3 月発行

- ・研究所レポートNo.1、No.2、No.3 の発行
- ・住民基本台帳に基づく新宿区将来人口見通し（庁内向け）の作成
- ・新宿区自治フォーラム 2018（3/17）の開催実績報告
- ・第 2 回職員向け講演会（2/5）の開催実績報告
- ・政策課題研究 PT による研究発表会（3/22）の開催実績報告

4 政策立案支援

（1）研究所データベースの更新

昨年度（2016 年度）、研究所レポートデータ、国勢調査や経済センサス等の公的統計、住民基本台帳人口の推移などの新宿区のデータ（Excel ファイル中心）を収集・整理し、データベースとして整備し、庁内共有ドキュメントで庁内に公開した。2017 年度も、国や区から新たに公表されたデータを随時、収集・追加し、データベースを更新することで、庁内各課の政策立案を支援した。

（2）庁内各課の政策立案支援

研究所では、庁内各課からの要望に基づき、政策立案のためのデータの作成・提供や助言等を随時行っている。2017 年度は主に以下の支援を行った（支援件数 12 件）。

- ・区政情報課からの依頼により、区政情報に関する資料とするため、新宿区の 1950 年～2015 年の世帯数の推移に関するデータを作成し、提供した。
- ・住宅課からの依頼に基づき、今後の住宅政策に向けた資料とするため、子どもと同居する高齢者数について、国勢調査データから資料を作成し、提供した。
- ・保育課からの依頼に基づき、保育所整備計画の参考資料とするため、25～44 歳の女性の就業率の推移について、国勢調査データから資料を作成し、提供した。
- ・介護保険課からの依頼に基づき、「介護保険事業計画」における人口推計及び事業量、保険料算定の基礎資料とするため、住民基本台帳による 2017 年 10 月 1 日を基準日とする 2025 年までの各歳各年別の新宿区人口推計を作成し、提供した。
- ・税務課からの依頼に基づき、税収見通し作成の基礎データとするため、住民基本台帳による 1 月 1 日現在の新宿区将来人口を算出し、提供した。
- ・企画政策課からの依頼に基づき、「新総合計画」の掲載資料とするため、国勢調査による人口推計や昼間人口と昼夜間人口比率に関する人口推移のデータをまとめ、資料を提供した。

ほか

（3）住民基本台帳に基づく新宿区将来人口見通しの試算

9 月に作成した「2015 年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」（速報版）は、2015 年の国勢調査人口を基準とする 5 年、年齢 5 歳ごとの長期的な人口見通しを示すものである。しかし、庁内で施策や事業計画を作成する際に望まれるデータは、住民基本台帳による 1 年ごとの短期的な推計人口である。そこで、庁内からの要望に応えるため、「住民基本台帳に基づく新宿区将来人口見通し」（住基人口見通し）を庁内向けに試算した。試算は、2017 年 10 月 1 日人口を基準とする 1 年、年齢 1 歳ごととも 2027 年までの 10 年間の新宿区及び特別出張所地域別の人口で、あわせて 4 月 1 日人口や 1 月 1 日人口に変換した推計も作成した。

(4) 政策課題研究PTによる調査研究

区職員の政策形成能力の向上を図るため、また、庁内の政策立案支援を行うため、人材育成センターが講師として発令した職員によるPTを立ち上げ、区が直面する政策課題をテーマとした研究事業を実施した。

①研究テーマ

「高齢者を地域で支えるための地域活動の場の確保」

②PTメンバー

- ・総務部総務課庁舎管理係長 新川 金七
- ・地域振興部戸籍住民課調整係長 大竹 一永
- ・文化観光産業部消費生活就労支援課勤労者・仕事支援センター主査 加治屋 圭史
- ・福祉部地域包括ケア推進課地域包括ケア推進係長 片岡 丈人
- ・子ども家庭部子ども総合センター総合相談係長 高野 香
- ・都市計画部防災都市づくり課防災都市づくり主査 桃原 由貴
- ・都市計画部住宅課区立住宅管理係長 楠原 裕式

③PTの開催

全13回(2017(平成29)年7月14日(金)～2018(平成30)年3月19日(月))

④研究報告書

平成29年度政策課題研究報告書「高齢者の活動の場の確保～心身ともに健やかでいきいきとくらするまちの実現に向けて～」を作成した。

⑤研究発表会

2018(平成30)年3月22日(水)に実施のPTによる発表会において、研究報告書を基に、研究成果を区長、副区長ほか幹部職員に説明し、意見交換を行った。

5 学会等への参加・報告・寄稿

本年度は実績なし

6 他自治体・シンクタンクとの交流

(1) 第10回特別区シンクタンク等交流会

日時：2017(平成29)年6月23日(金)14時～16時

場所：東京区政会館

内容：各区シンクタンク等の活動状況や調査研究テーマ、調査研究における諸課題等についての情報交換・意見交換を行った。(港区、世田谷区、北区、荒川区、新宿区、特別区協議会が参加)

参加者：原田副所長、田中・町田研究員

(2) 特別区協議会・特別区統計情報システムに関する意見交換

日時：2017(平成29)年7月12日(水)15時～17時

場所：研究所会議室

内容：特別区協議会調査研究課が運営する特別区統計情報システムについて、利用実態、公開が望まれるデータの要望、利用しやすい環境の提案等について意見交換を行った。

参加者：田中研究員

(3) 第5回自治体シンクタンク研究交流会議

日 時：2017（平成29）年11月17日（金）13時～17時30分

場 所：春日部市教育センター視聴覚ホール

内 容：自治体シンクタンクのあり方や共通課題の改善方策等について知見を共有し、組織運営能力、政策形成能力の向上を図り、ネットワークをつくりあげることが目的に開催。特別講演「データから読み取る気象情報」（講師：平井信行／気象予報士）、セッション「統計データの有効な管理・活用方法について」（コーディネータ：牧瀬稔氏）

参加者：原田副所長、田中研究員

(4) 西条市シンクタンクとの意見交換

日 時：2017（平成29）年11月28日（火）10時～11時30分

場 所：研究所会議室

内 容：西条市自治政策研究所の主任研究員と自治体シンクタンクの運営・研究方法、課題等について意見交換した。

参加者：田中研究員

(5) 第4回都市調査研究交流会

日 時：2018（平成30）年2月9日（金）13時～16時30分

場 所：日本都市センター会館7階

内 容：公益財団法人日本都市センター主催の自治体交流会で、都市自治体における調査研究に携わる職員を対象に、調査研究技法に関する意見交換等の場として開催。都市自治体における調査研究を担う人材育成・専門性の確保をテーマに、関東学院大学の出石稔教授による講演、パネルディスカッションを聞くとともに意見交換を行った。

参加者：原田副所長、町田研究員

7 新宿区自治フォーラム2018

日 時：2018（平成30）年3月17日（土）13時30分～16時30分

場 所：新宿文化センター3階小ホール

テーマ：「物語としての新宿の魅力」

内 容：

・開会の挨拶：金安岩男／研究所長

① 新宿区からの報告（約30分）

・新宿区の紹介：菅野秀昭／企画政策課長

新宿区の概要、新宿区総合計画、新宿区自治基本条例等

・研究成の活動：原田由紀／研究副所長

研究所レポートNo.1「2015年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計」

研究所レポートNo.2「2015年国勢調査データからみる新宿区の特徴」ほか

② 講演（約35分）

・「都市の物語構造」

梅本 龍夫氏／立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授

梅本氏は、起承転結の物語構造を、東京や新宿にあてはめ、わかりやすく紐解いてご説明いただき、「都心から離れ過ぎず近すぎない位置にある新宿に、中心地では異端で、まだ認められていないようなものが多く流れつき、それらが一つの正統に進化、成長し、新宿を通して広まっていく」と話された。また、新宿を「都心に対抗する文化経

済社会の創発（新しい文化や生き方、色々なものが生まれる）装置」であると解説された。さらに、新宿は「日本の閉塞状態に風穴を開けて、新しい文化経済社会のあり方を見せる役割」を担っており、「新宿が元気で繁栄するというのが、日本の未来に希望を与えてくれるのではないかと感じた」と話された。

③ 新宿の魅力を語る（約 100 分）

<導入>

- ・新宿のまちの魅力の研究から／研究所非常勤研究員（阿部・渡部）

<語り手>

- ・牛垣 雄矢氏／東京学芸大学准教授（都市地理学）
- ・外波山 文明氏／劇団椿組主宰、新宿ゴールデン街商業組合理事長
- ・林 尚恒氏／吉本興業（株）コーポレート・コミュニケーション本部副本部長

<コーディネータ>

- ・金安 岩男／慶應義塾大学名誉教授、新宿自治創造研究所長

牛垣雄矢氏は、「神楽坂の個性・魅力と近年の変化」と題して、昔ながらの景観や個人経営飲食店の集積といった神楽坂の個性を歴史的側面から語られ、これらの魅力の維持や新たな個性の形成のための提言をされた。

外波山文明氏は、ゴールデン街の魅力や歴史、これからのまちづくりについて、ご自身の経験談、裏話を交えながら、まちのリアルな姿を語られた。

林尚恒氏は、吉本興業と新宿区の関わりを中心に話され、ゲストとして芸人の「天狗」のお二人をお呼びいただき、面白可笑しく新宿について紹介された

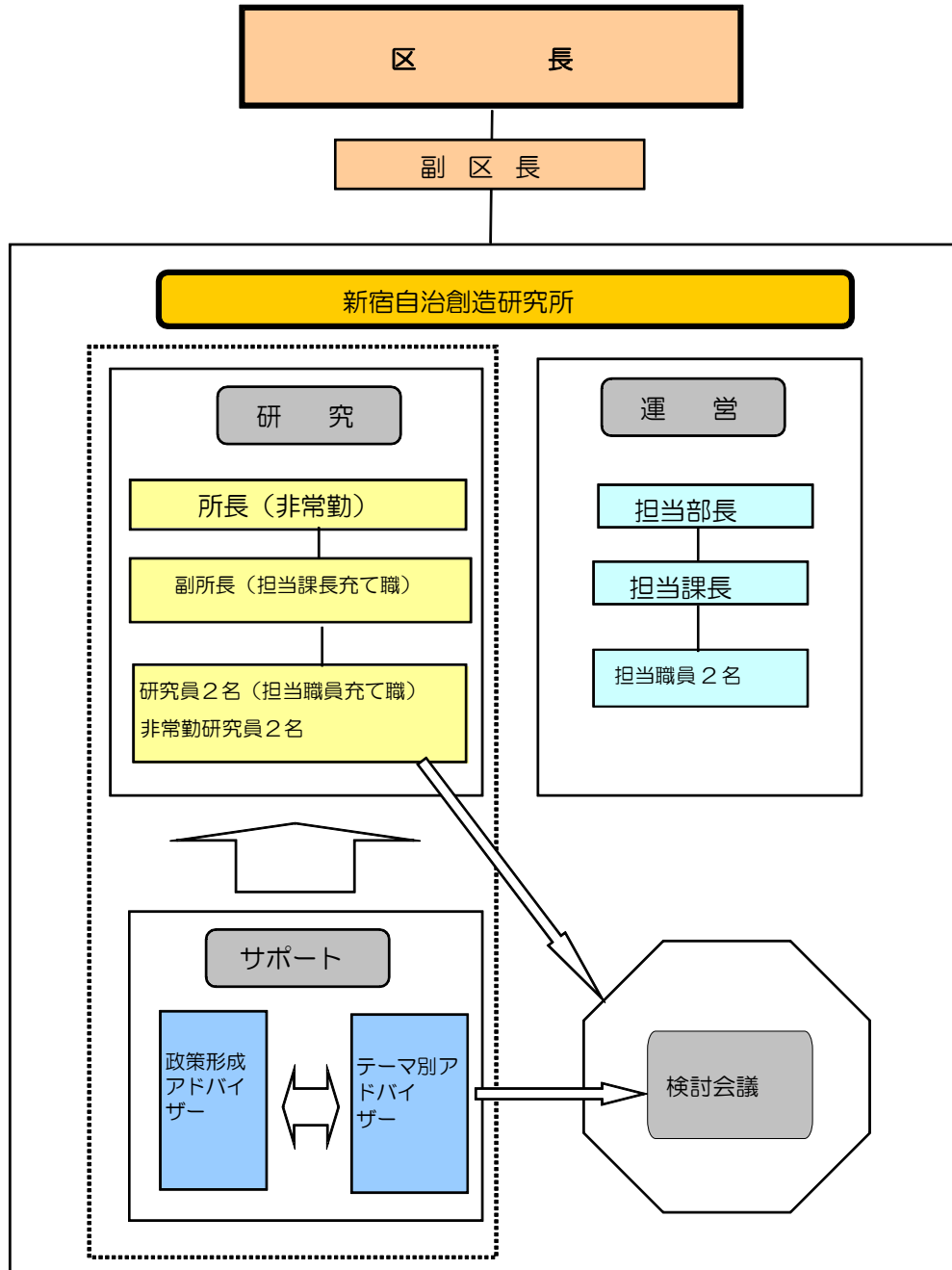
最後に、金安所長と梅本氏が参加者との質疑応答を交えて総括を行い、新宿駅西口周辺のまちづくりについては、平井光雄総合政策部長からもコメントがあった。そして、吉住区長から、東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組み等、参加者の質問への返答も交えた挨拶があり、閉会となった。

参加者：70人

満足度：参加者アンケートによる講演の満足度は、「満足」と「ほぼ満足」を合わせて97%

8 資料

(1) 組織図



[役割]

- ・所長 …研究の統括
- ・副所長 …研究所内の事務的管理
- ・政策形成アドバイザー…研究全体の進捗管理、アドバイス
- ・テーマ別アドバイザー…各テーマの方向付け、アドバイス
- ・担当部長、担当課長…研究所に関する事務

(2) 研究体制

役職名	氏名	資格・専門等	役割	
担当部長 (兼務)	平井 光雄	総合政策部長	担当部事務総括	運営
担当課長 (兼務)	原田 由紀	総合政策部副参事	担当課事務総括	
所長	金安 岩男	慶応義塾大学名誉教授 専門分野：地理学、計画実践論、 プロジェクト発想法	研究の統括	研究
副所長	原田 由紀 (再掲)	担当課長	研究所内の事務 的管理	
主任研究員	田中 雅美	研究主査	研究・調整	
研究員	町田 愛美	主事	研究・庶務	
非常勤研究員	阿部 名保子	博士（学術）	調査研究	究
	渡部 春佳	修士（社会情報学）	調査研究	
政策形成 アドバイザー	牧瀬 稔	関東学院大学法学部地域創生学科准教授 専門分野：地方自治、地域政策、行政学	研究全体の進捗 管理、アドバイ ス	サポート
テーマ別 アドバイザー	大江 守之	慶応義塾大学名誉教授 専門分野：都市人口学、都市・住宅政策	テーマ研究の指 導、アドバイス	
	梅本 龍夫	立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究 科特任教授 専門分野：経営戦略、マーケティング、ブ ランディング、サードプレイス論、物語法		

(3) これまでの研究成果物

※ ◎は冊子、◆はホームページのみで公開

<平成 20 年度>

◎2008（平成 20）年度 新宿自治創造研究所活動報告書（平成 21 年 3 月）

<平成 21 年度>

◎2009（平成 21）年度 新宿自治創造研究所活動報告書（平成 22 年 3 月）

◎都市・自治にかかる情報と分析—データの読み方—（平成 22 年 3 月）

<平成 22 年度>

◎研究所レポート 2010 外国人WG報告（1）（平成 22 年 12 月）

◎研究所レポート 2010 人口WG報告（1）（平成 23 年 2 月）

◎研究所レポート 2010 集合住宅WG報告（1）（平成 23 年 3 月）

<平成 23 年度>

- ◎研究所レポート 2011 集合住宅WG報告（2）（平成 23 年 11 月）
- ◎研究所レポート 2011 外国人WG報告（2）（平成 23 年 11 月）
- ◎研究所レポート 2011 集合住宅WG報告（3）（平成 24 年 1 月）
- ◎研究所レポート 2011 外国人WG報告（3）（平成 24 年 1 月）
- ◎研究所レポート 2011 人口WG報告（2）（平成 24 年 3 月）
- ◎研究所レポート 2011 人口WG報告（3）（平成 24 年 3 月）

<平成 24 年度>

- ◆2010 年国勢調査 人口等基本集計結果（新宿区の概要）（平成 24 年 8 月）
- ◆2010 年国勢調査 産業等基本集計結果（新宿区の概要）（平成 24 年 8 月）
- ◆2010 年国勢調査 従業地・通学地による集計結果（新宿区の概要）（平成 25 年 1 月）
- ◆2010 年国勢調査 職業等基本集計結果（新宿区の概要）（平成 25 年 1 月）
- ◎研究所レポート 2012 No.1 国勢調査データからみる新宿区の特徴（平成 25 年 3 月）
- ◎研究所レポート 2012 No.2 国勢調査に基づく新宿区将来人口推計
ー将来の住宅供給を考慮したコーホート・シェア延長法によるー（平成 25 年 3 月）

<平成 25 年度>

- ◎研究所レポート 2013 No.1 国勢調査に基づく新宿区将来人口推計ー地域別推計ー（平成 26 年 1 月）
- ◎研究所レポート 2013 No.2 国勢調査に基づく新宿区将来世帯推計（平成 26 年 3 月）
- ◎研究所レポート 2013 No.3 新宿区の単身世帯の特徴ー壮年期を中心としてー（平成 26 年 3 月）

<平成 26 年度>

- ◆住民基本台帳に基づく新宿区将来人口推計（平成 26 年 10 月 1 日基準日）（平成 27 年 3 月）
- ◎研究所レポート 2014 No.1 新宿区の人口移動（平成 27 年 3 月）
- ◎研究所レポート 2014 No.2 新宿区の単身世帯の特徴（2）ー単身世帯意識調査結果からー（平成 27 年 3 月）

<平成 27 年度>

- ◎新宿区人口ビジョン（新宿区企画政策課発行）（平成 28 年 1 月）
- ◎研究所レポート 2015 No.1 新宿区の単身世帯の特徴（3）ー壮年期・高齢期の生活像ー（平成 28 年 3 月）
- ◎研究所レポート 2015 No.2 データでみる新宿区の姿（平成 28 年 3 月）

<平成 28 年度>

- ◆2015 年国勢調査 人口等基本集計結果（新宿区の概要）（平成 29 年 1 月）
- ◎研究所レポート 2016 新宿区のまちの魅力（1）
ーにぎわいの実態把握と意識面からみる魅力の分析ー（平成 28 年 3 月）

<平成 29 年度>

- ◆2015 年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計（速報版）（平成 29 年 9 月）
- ◆2015 年国勢調査 就業状態等基本集計結果（新宿区の概要）（平成 29 年 9 月）

- ◆2015年国勢調査 従業地・通学地集計結果（新宿区の概要）（平成29年12月）
- ◆2015年国勢調査 移動人口・世帯構造等集計結果（新宿区の概要）（平成30年3月）
- ◆2015年国勢調査 小地域集計結果（新宿区の概要）（平成30年3月）
- ◎研究所レポート2017 No.1 2015年国勢調査に基づく新宿区将来人口推計（平成30年1月）
- ◎研究所レポート2017 No.2 2015年国勢調査データからみる新宿区の特徴（平成30年1月）
- ◎研究所レポート2017 No.3 新宿区のまちの魅力の研究（2）（平成30年3月）